

# 2011FIFA ビーチサッカーワールドカップ

## 派遣報告会 実施報告

平成 23 年 12 月 4 日

概要	日時	2011 (平成 23) 年 11 月 19 日 (土) 18:00~21:00
	場所	会場: 横浜駅東口 MYX ビル 10F トヨタ神奈川食堂
	主催者	神奈川県サッカー審判協会 神奈川県サッカー協会審判委員会フットサル、ビーチサッカー部
	テーマ	三大会ビーチサッカーワールドカップに参加して
	参加者	13名
内容	【報告会】 2011FIFA ビーチサッカーに参加された小野寺祐氏より派遣報告 ① ビーチサッカーの説明 ② 参加しての審判のサッカーWorld-Cup との違い ③ エピソード 【懇親会】 参加からの質疑応答、懇親	
	所感	<p>&lt;報告会および懇親会&gt; 神奈川県サッカー審判協会と神奈川県サッカー協会審判委員会フットサル、ビーチサッカー部の共催で開催し、これまでビーチサッカーワールドカップに審判員として派遣された小野寺祐氏を招いて、世界のビーチサッカー審判について、お話を頂いた。</p> <p>まずは、フランス大会でのビデオを見ながら、ビーチサッカーの競技規則を説明され、ラインの代わりにロープがあったり、フラッグが立てられたりとサッカーとは、違ったフィールドで実施されていると。</p> <p>特に驚いたのは砂が白い砂で、陽にあたって熱くならないということでした。日本の海岸の砂は鉄分が多く、真夏は熱くて裸足では歩けないと思いましたが、ワールドカップに使用されている砂は熱くならないということで、私にとっては初耳づくしの報告会となりました。</p> <p>フランス大会 (マルセイユ)・アラブ首長国連邦大会 (ドバイ)・イタリア大会 (ラヴェンナ) の 3 大会に連続して参加し、世界の TOP レベルの試合を担当され、大会での張りつめた緊張感を体験し、大会中は宿泊のホテルも教えることができないなど、厳格な情報管理も求められたと語られた。</p> <p>イタリア大会 (ラヴェンナ) では、ウェイトコントロールを要求され、食事もパスタやピザなどは無く、ラザニアはあったが野菜中心で、食の楽しみが大会中はできなかったと聞き、健康管理もしっかりされたようでした。</p> <p>服装についても、大会中は日々、全員が決められた同じものを着用して、ミーティングなどに参加しなければならないと、いろいろ制約があったようです。</p> <p>フィットネステストも厳しく、大会中に数名がクリアできず離脱した審判員もおり、気を抜けない厳しさを感じました。</p> <p>試合終了後のアセッサーが入った反省会は無く、何か大きな問題があった場合のみ、審判同士のディスカッションがあるだけというサッカーとは違った面も聞きました。</p> <p>通訳も英語とスペイン語だけであり、小野寺氏は英語でコミュニケーションを図った。 是非、FIFA を目指す神奈川県の手審判員の方々には語学力の向上を期待します。</p> <p>最後に、会場提供および懇親会の準備に協力頂きました、T コーポレーションの時枝氏に深く感謝申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">兼井新一 (記)</p>



スナップ写真

